

地下式複式メータボックス

13、20

仕 様 書

淡路広域水道企業団

本仕様書は、淡路広域水道企業団管内で使用する地下式複式メータボックスについて規定する。

1. メータボックス

対象品の種類は、表1による。

表1：対象品の種類

対象品の種類		
名 称	通水経路	呼び径
地下式複式メータボックス	2系統	13
	3系統	
	4系統	20

2. 性能

器具の性能は表2による。尚、試験方法については、JWWA B 108 および JIS S 3200 に準拠すること。

表2 器具の性能

項目	性 能		試験方法	
耐圧性能	耐圧部に変形、破損、漏水、その他の異常があつてはならない。		水圧 1.75MPa×1 分間保持。 (JIS S 3200-1 による)	
止水性能	シート漏れ、その他の異常があつてはならない。		水圧 0.75MPa×30 秒間保持。 (JWWA B 108 に準拠)	
逆流防止性能	弁座漏れ、その他の異常があつてはならない。		逆止水圧 3kPa および 1.5MPa。 それぞれ 1 分間保持。 (JIS S 3200-4 による)	
耐久性能	栓の開閉操作 500 回後、止水性能を満たしていなければならない。		JWWA B 108 に準拠。	
	逆止弁は 10 万回の開閉動作を行った後、逆流防止性能を満たしていなければならない。		JIS S 3200-6 による。	
浸出性能	共通項目	濁度	2 度以下	JIS S 3200-7 に規定される試験方法による。
		色度	5 度以下	
		臭気	異常でないこと	
		味	異常でないこと	
	選択項目	平成 9 年厚生省令第 14 号(最終改正：平成 16 年厚生労働省令第 6 号) に適合のこと。		

3. 構造・形状

メータボックス内で1つの通水経路から複数に分岐される分岐配管を設け、分岐系統毎に、止水栓、水道メータ脱着機構、逆止弁を配置し、ユニット化していること。

1) 止水栓

- ①ボール止水栓は開閉防止機構を備えていること。
- ②開閉は、90° とし、右回しで閉、左回しで開とする。

- ③ボール止水栓のハンドルは、閉状態で外れる構造とする。
- ④止水栓は、個別に取付け、取り外しができる構造とする。

2) 逆止弁

- ①逆止弁は、ばね式のカートリッジ式逆止弁とする。
- ②逆止弁の交換は、逆止弁押さえを外すことによりカートリッジの交換が行える構造とすること。

3) 伸縮管

- ①メータの上流側に伸縮管を設けていること。

4) メータボックス

- ①メータボックスは、上柵、下柵と蓋（3系統、4系統タイプは小蓋を設ける）で構成し、十分な強度を有していること。
- ②メータボックスは、水道メータの逆取付が防止出来る構造になっていること。
- ③水道メータ交換時、水道メータ周辺に堆積した土砂を容易に掃き出せる形状とする。

4. 器具の外観

器具の外観は、内外面が滑らかで、成形巣、ひび、著しい傷、ばり、その他使用上有害な欠点がないこと。

5. 材料

器具の各部の材料は、通常の使用および施工に充分耐えるだけの強度および耐久性を有し、かつ、水質に悪影響をおよぼさないこと。

6. 検査

器具の検査は、次の項目について行い、その成績が各規定に適合しなければならない。

- (1) 耐圧検査
- (2) 止水検査
- (3) 逆止検査
- (4) 寸法検査
- (5) 外観検査
- (6) 材料検査
- (7) 表示検査

7. 表示

次の事項を成形または、容易に消えない方法で表示すること。

- (1) 製造業者名またはその略号
- (2) 量水器
- (3) 水マーク
- (4) メータ口径
- (5) 積載禁止
- (6) 部屋番号とメータ番号